

かなえ

第166号(令和8年8月)

医療法人社団鼎会 三和病院

松戸市日暮7-379 ☎047-712-0202

<https://sanwa-hp.jp/>



医療法人社団鼎会 八柱三和クリニック

松戸市日暮1-16-2 ☎047-312-8830

<https://sanwa-cl.jp/>

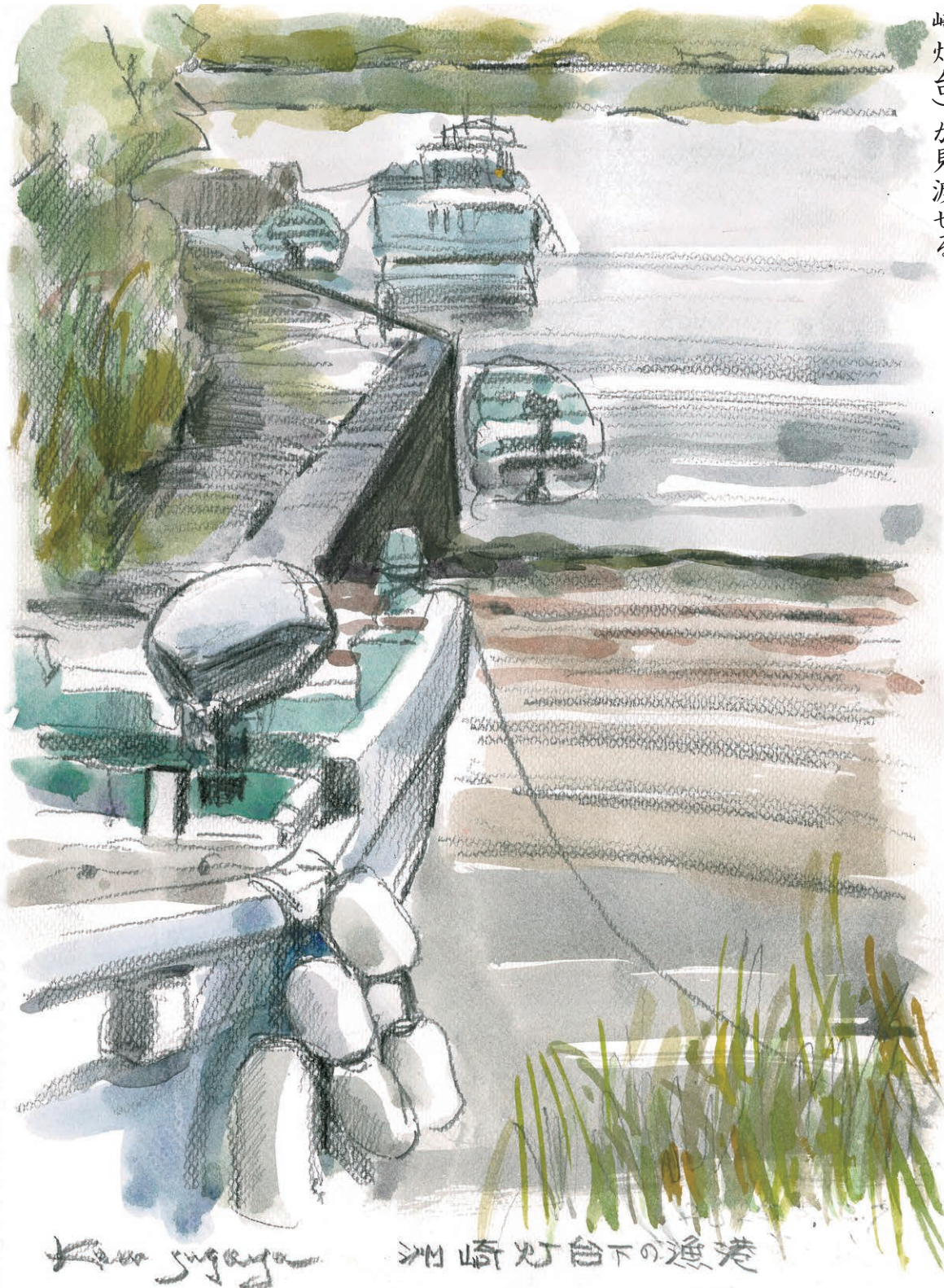


須崎灯台下の漁港をスケッチ

千葉、白浜灯台から平砂浦方面を行くと須崎灯台が見える。この下にあるのが波左間地区である。小さな漁港ではあるが、この港から灯台(須崎灯台)が見渡せる。

30分ほどで急いでスケッチ。この場所は、夏は波が静かで多くの海水浴客が訪れる。ここから館山の市内へはすぐであり、交通のアクセスも良い。またこの漁港へスケッチに行きたいと思っている今日この頃である。

絵、文 菅谷功 2026年



Kana Sugaya

須崎灯台下の漁港



いつのまにか私が医者になって50年を過ぎていました。この間に医師と患者の関係は大きく変わりました。

かつての医師主導の医療はパターンリズム(父権主義)として今はそうした教育はされていません。代わりに患者さんの話に傾聴し、話を遮らないという「技法」は現代医学教育の基本として教えられています。もちろんそうすると際限なく話し続ける方も少なくはありません。

しかしこの技法は基本的に有効です。相手は少なくとも自分の言いたいことが言えてそしてそれを聞いて同意してもらったと理解しますから。ただしそれはあくまで表面的なものにすぎないのです。本当に同意しているかどうかは別問題です。

医学生が当院に来て私と訪問診療を回ると皆目を輝かせ、異口同音に患者さんとの距離が近いと驚きます。大学病院で初診の患者さんと話をすると長く診ている患者さんとの会話では違うのが当然ですが、そのようなお付き合いができる自分は幸せな医者だと思います。

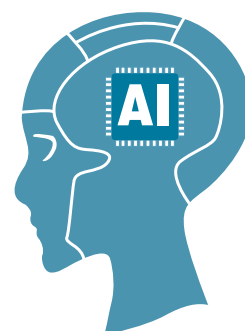
たまたま診ている病気が膠原病、リウマチという慢性の病気なので、10年どころか、40年以上診ている人も結構たくさんいます。家族のことまで熟知しています。こうなるとまさに友人を診察室に「招き入れる」関係になるのです。

もう一つ私の診療に大きく影響したのは患者さんとの海外旅行でした。欧州旅行を患者さんのペースで回るツアーで、私が企画しツアコンと通訳、医者を兼ねているので比較的安価な費用に抑えられます。企画したのは良いのですが、いざ行ってみると当初は患者さんたちの中に裸で飛び込むような感覚でとても恥ずかしかったのです。

考えてみると私たち医師はいつも白衣という鎧と聴診器という剣をもって武装して患者さんに対峙しています。しかしいったんそれが取り払われてお互いが普通の人間として向き合った時に、真に良い関係が生まれることを学んだのです。

さてAIが何でも答えてくれる時代になり、昨今はAIに相談した結果をもって自分の治療法について質問してくる患者も出てきました。他の世界と同様にAIの知識は膨大なもので、こちらもうかうかと答えられる状態ではなくなりつつあります。

医療専門のAIに患者さんのデータを入力して得られた回答結果を説明する診療の時代がくるのはそんな先の話ではないように思います。先日はNHKで「AIさん」に自分の最期の治療の判断を相談している話をみました。



私自身が人工知能での自動診断を夢見て研究していた1990年代からすると、AI診療がこうした形で一挙に訪れようとは想定外でした。AIは優しく丁寧にあなたに寄り添って対応してくれます。また何時間でも疲れずに繰り返し説明してくれます。

基本的にAIはあなたに同意しあなたが不快にならないよう回答するように設計されています。電話

のクレマー対応は間もなくAIに任せるようになるでしょうし、ごく近い未来に内科医はAI診療に敵わなくなるでしょう。

ただこれが真の理想の関係なのかはわかりません。皆さんはAIがただあなたにこだましているだけ、と気づくことができるでしょうか？

+ 医療安全便り



医療法に基づき全職員を対象とした医療安全研修を、年2回以上実施することが義務付けられています。今年度の第1回目研修は「千葉大学医学部附属病院 医療安全管理部長 滝沢牧子先生」をお招きし、ご講演頂きました。テーマは『現場で生かす医療安全マネジメント』で、内容がわかりやすくとても好評でした。

当院でも日常業務の中で起こるヒヤリ・ハットは、インシデント・アクシデントレポートとして医療安全に報告があがり、再発防止のために起こった出来事を分析し対策計画を講じています。

その対策計画を職員が遵守し、安全医療体制確保ができるよう体制を整えていくことをマネジメントといいます。今回の研修で、現場で有効に生かせるマネジメントの仕組みを学ぶことができました。

最近報告件数に増加傾向があるのが「外来通院患者さんの転倒」です。思わぬ転倒は「骨折リスク」が高く、厚労省や転倒転落予防学会が注意を呼びかけています。履き慣れた靴でも、つまずきやすい、転びやすい靴は危険です。

靴は“足の裏”と“地面”の間で、歩く動作を脳に伝えるセンサーの役割を担っています。そこで、靴選びの7つの条件をご紹介します。

- ① **かかとがしっかり保たれている** (かかとが浮くと重心が不安定、転倒に直結)
- ② **着脱が簡単** (マジックテープ式・ファスナーなどが良く紐を結ぶ動作で転倒することも)
- ③ **指先に1cmの余裕** (小さいと足の指が動かず踏ん張りが効かない、大きいと足の指が滑り、つまずき易い)
- ④ **靴底が薄めで地面の感覚が伝わる**
- ⑤ **靴底がしっかり地面を捉える**
- ⑥ **片足300g以下の軽さ**
- ⑦ **甲の高さが調整できる**

快適な一歩が毎日の安心につながります。転倒予防にご協力をお願いいたします。



三和病院 医療安全管理部 文責：医療安全管理者

A colorful illustration of a hospital building with a blue cross on its roof. A rainbow is on the left, and a white bird is flying in the sky. In the foreground, a smiling woman in a grey suit and a smiling man in a white shirt and orange tie are standing.

八柱三和クリニック

8月10日(月)	内 科	三角 明里 医師
8月13日(木)	乳腺外科	酒井 春奈 医師
8月17日(月)	内 科	工田 啓史 医師 (代診 山本圭太医師)
8月19日(水)	内 科	神崎 哲人 医師
8月27日(木)	内 科	加藤 愛美 医師 ※午前は診察あります
8月31日(月)	内 科	加藤 愛美 医師 ※午後は診察あります
9月12日(土)	内 科	加藤 愛美 医師
9月16日(水)	内 科	渡辺 聡枝 医師
9月18日(金)	内 科	渡辺 聡枝 医師
9月19日(土)	内 科	塚原 隆伊 医師
9月24日(木)	内 科	吉江 雅信 医師
9月25日(金)	内 科	渡辺 聡枝 医師

A cartoon illustration of a male doctor and a female nurse. The doctor, on the left, has short brown hair, a friendly smile, and is wearing a white lab coat over a blue shirt and tie. A stethoscope is around his neck, and he is waving with his right hand. The nurse, on the right, has shoulder-length brown hair and is also smiling. She is wearing a white lab coat over a pink shirt and has her hands clasped in front of her. They are standing against a light blue background.

医療法人社団鼎会総務課 TEL047-712-0202

シャトルバス運行予定表

※この便は状況に応じて増便いたします。

※交通状況等によって時間通りに運行できない場合があります。

※日曜・祝日・年末年始(12/30～1/3)は運行しておりません。

※定められたバス停などはありません。

※八住駅の交番前を目安に発着しております。

※八住駅前のロータリーの駐車状況によっては、交番前に停車できない場合がございます。その際は、ロータリー内の可能なスペースに停車致しますので、ご了承下さいませ。